ミニワークショップの進め方

平成28年３月

**◇ミニワークショップとは**

少人数で行うワークショップ型研究協議のこと。

**◇ミニワークショップのメリット－少人数で！短時間で！気軽に！－**

○負担感が少なく、教員の主体的な研修が期待できる。

○短時間で実施するため、時間を有効に使える。

○授業公開や研究協議の機会が増え、より多くの教員の参加が可能となる。

→全校体制で取り組む意識が高まる。

**◇ミニワークショップの活用例**

・一人１授業等で、授業者と参観した教員が参加し実施する。

・研究協議の時間確保や全員の参加が難しい場合に、小グループのメンバー（学年や教科ごと）で集まって実施する。

・全校を対象とした研究授業前に、授業の改善を図る目的で同学年内や同じ教科担当内で実施する。

**◇小グループ分けの例**　　※校内研修組織を基にするとよい。

Ａ　担当学年や教科が同じ同質のグループ

Ｂ　担当学年や教科が異なる異質のグループ

**◇ミニワークショップの進行例（３０分バージョン）**

|  |  |
| --- | --- |
| 内　　　　　　容 | 時間（分） |
| ①　授業の気付きを付箋に記入する。 | ５ |
| ②　簡潔に説明しながら付箋をシートに貼る。 | ５ |
| ③　付箋を関連するもので整理する。→付箋のまとまりに見出しを付ける。→付箋のまとまり同士を矢印等で関連付け、構造化する。※課題・改善策を中心に | 10 |
| ④　「今後の授業改善のポイント」を記入する。 | ５ |
| ⑤　一人一言ずつ振り返りを述べる。 | ５ |

**◇よりよいミニワークショップにするには**

・授業参観のときも、ワークショップのときも常に研究主題や研究の視点を意識する。

・進め方（参考１）や使用するシート（参考２）について共通理解を図る。

・付箋、サインペン、模造紙等の道具は、決まった場所に保管しておく。

・30分程度で実施することとし、予定した時間は厳守する。

・終了後、研修主任に報告する（参考３）とともに成果物（実物、画像、データ等）の共有化を図る。

・ファシリテーターを輪番とすると、教員一人ひとりのスキルアップを図ることができる。

・１回ごとに改善を図り、学校独自の進め方やシートを開発するとよい。

（参考１）

ミニワークショップの進め方

準備物

□　付箋　□　サインペン（黒）　□　模造紙（シート）　□フェルトペン（多色）

□　タイマー　□　報告書

１　付箋の記入（５分）

　　○研究主題や研究の視点に関わることを中心に書きましょう。

○付箋への記入は、準備したサインペンを使いましょう。

○体言止めではなく、文で書きましょう。

２　付箋の貼付け（５分）

○簡潔に説明しながらシートに貼りましょう。

　　○１枚貼ったら、次に隣の人が１枚貼っていきます。一人が一度にたくさんの付箋を貼らないようにしましょう。

　　　※自分と同様の意見が貼られたときは、順番に関わらず貼ります。

３　付箋の集約・関係付け（１０分）

　　○関連する付箋を見付け、まとまりをつくりましょう。

　　○付箋のまとまりの内容を表す見出しをシートに書きましょう。

　　○まとまり同士の関係を表す線や矢印をシートに描きましょう。

４　「今後の授業改善のポイント」の記入（５分）

　　○研究主題や研究の視点を踏まえて「今後の授業改善のポイント」をシートに書きましょう。

５　振り返り（５分）

　　○一人ずつ、１分程度で感想等を述べましょう。

※代表者は、報告書を作成し、研修主任まで提出する。

※シート（成果物）は、所定の場所に掲示する。

（参考２－１）シートの例①

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 　　月　　日（　　）参加者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |
|  | 研究主題「○○○○○」 |  |
|  | 　　月　　日（　　）○校時　教科・単元名等 |  |
|  | 研究の視点「△△△△△」 |  |
|  | ３色（よさ…水色、課題…ピンク色、改善策…黄色）の付箋を使い、ＫＪ法的手法で意見を集約する。 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  | 今後の授業改善のポイント〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕 |  |
|  |  |  |  |  |

（参考２－２）シートの例②

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 　　月　　日（　　）参加者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |
|  | 研究主題「○○○○○」 |  |
|  | 　　月　　日（　　）○校時　教科・単元名等 |  |
|  |  | △△△△△（研究の視点） | その他 |  |
|  | よさ |  |  |  |
|  | 課題 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 今後の授業改善のポイント |  |
|  |  |  |  |  |

※シートは、模造紙の１/２程度でもよい。

※シートは長期休業中等にみんなで作成しておくと、すぐにワークショップが行える。また、シートの使い方についての共通理解も図れる。

※短時間での焦点化した協議になるよう、研究の視点を一つに絞り、枠を広くとる。

（参考３）報告書の例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ミニワークショップ報告書 |  |
|  | 　　　　　記入者　　　　　　　　　　　 |  |
|  | 研究主題「○○○○○」 |  |
|  | 授業日時　　　　　月　　日（　　）　　校時 |  |
|  | 教科・単元名等 |  |  |
|  | 指導者 |  |  |
|  | 学級 | 　　年　　　組 |  |
|  | ミニワークショップ実施日　　　　　月　　日（　　） |  |
|  | 参加者 |  |  |
|  | 今後の授業改善のポイント |  |
|  |  |  |
|  | 気付き・感想（授業や協議内容について・ワークショップの進め方について等） |
|  |  |  |
|  |  |  |  |  |